



2021年度 町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会

次 第

[日時] 2021年11月19日 (金) 10:00~11:30

[場所] 町田市民フォーラム ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
町田市町内会・自治会連合会 高橋 清人

○ 連合会長の挨拶

町田市町内会・自治会連合会 会長 安達 廣美

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 境川洪水対策について

【下水道部】

2 多摩都市モノレール町田方面延伸の早期実現促進について

【都市づくり部】

3 空き家について最新の町田市の対策について

【都市づくり部】

4 町田市の新型コロナウイルス感染症対策の実状について

【保健所】

5 檜枯病の対策について

【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田市町内会・自治会連合会 会長代行 中 一登

2021年度 町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2021年11月19日(金) 10:00～11:30

[場 所] 町田市民フォーラム ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一
保健所長 河合 江美
都市づくり部長 萩野 功一
都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳
下水道部長 荻原 康義
政策経営部広報担当部長 遠藤 雅子
市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫
町田市町内会・自治会連合会長 ほか91名
事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田市町内会・自治会連合会副会長

- 町田市町内会・自治会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 境川洪水対策について

今年も異常気象により集中豪雨が頻発しています。“過去に例をみない雨量”による浸水被害が日本各地で日常茶飯事化しています。町田市でもこの夏豪雨による避難勧告が発令されています。2016年には「境川流域水害対策計画」が東京都と神奈川県により策定されていますが、その後の整備状況はどうなっているのでしょうか？根岸橋上流の神奈川県所掌区間では、未整備の区間（二国橋～両国橋、馬場橋～根岸橋）もあり、この地域では実際に溢水が起きています。早急な対応が必要です。

【回答】

下水道部長

境川の洪水対策について、河川管理者である神奈川県や東京都に確認した整備状況をお答えいたします。

神奈川県や東京都では、河川整備や河川の氾濫を防ぐため、流しきれない水を一時的に貯めておく「遊水地」や「調節池」といった施設の整備を進めています。

最初に川上橋から根岸橋までの神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター管理区間では、風間遊水地および河川の整備を進めております。

町田街道の法政大学入口交差点付近に位置する風戸橋の下流で整備を進めている風間遊水地は、貯水量1.7万立方メートルです。整備予定としては、当初の予定どおり2022年3月末に完成し、その後、稼働を開始します。

次に、根岸橋から都県境の鶴瀬橋付近までの東京都南多摩東部建設事務所管理区間では、現在、「境川木曽東調節池」と「境川金森調節池」の2箇所の調節池の整備を進めています。これらの貯水量は、「境川木曽東調節池」が4.9万立方メートルで、「境川金森調節池」が15.1万立方メートルです。整備予定としては、「境川木曽東調節池」は2025年度内の暫定的な取水を目指しています。「境川金森調節池」は2026年3月末に工事が完了する予定で、その後、稼働を開始します。

最後に、都県境の鶴瀬橋付近より下流を管理している神奈川県の厚木土木事務所東部センターおよび藤沢土木事務所管理区間では、河口から約5キロメートルが50ミリ護岸で整備済みであり、この区間は流下能力が時間降雨50ミリメートルになっています。しかし、残りの区間約20キロメートルについては、未整備のため、流下能力は概ね時間降雨30ミリメートルになっています。

この未整備区間の内、時間降雨30ミリメートルの流下能力に満たない「狭窄部」と言われるところが2箇所あります。1箇所目の相鉄線と境川の交差する箇所については、整備に着手しており、2箇所目の藤沢橋付近では、住宅が河に近接し拡幅が困難なため、河川のバイパスを検討しています。

また、河川整備以外にも俣野遊水地、下飯田遊水地、今田遊水地の3つの遊水地によって構成される「境川遊水地」は2014年3月に工事が完了し、その後、稼働を開始しています。これらの貯水量は約104万立方メートルで、先ほどご説明した「風間遊水地」、「境川木曽東調節池」、「境川金森調節池」の貯水量の約5倍になります。

このように、下流の神奈川県管理区間の狭窄部を含む未整備となっている延長約20キロメートルの区間について、時間降雨50ミリメートルへの整備を完了させ、その後、町田市内の東京都管理区間約10キロメートルの河床を掘り下げること、さらに、根岸橋から上流の神奈川県管理区間約16キロメートルの時間降雨50ミリメートルへの整備を完了させることで、境川全域で時間降雨50ミリメートルの河川としての流下能力が確保できるようになります。

つまり、下流の神奈川県の整備が進まないと、上流の町田市管内の境川の流下能力を上げることができない状況です。神奈川県や東京都などが2015年4月に策定した「境川水系整備計画」では、整備延長が長いことなどから、概

ね30年の期間を要する見込みとされています。

市としては、8月に神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター、10月に厚木土木事務所東部センター及び藤沢土木事務所に赴き、2021年度の整備状況の確認や遊水地などを含めた早期整備を要請してまいりました。

今後も、河川管理者に対して、町田市民が安心して生活できるよう河川整備の要請を行ってまいります。

《質疑》

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

私からお願いがあります。これは費用だけでなく時間もかかる整備です。全体的なスケジュールで、今2015年に策定した計画では、整備が完了するまでに30年かかるというお話がありましたが、私は少し長すぎるのではないかと思います。財政等々問題があるでしょうから、期間の長短は一旦置いて、最終的に50ミリ対応になるという全体的な整備計画を東京都と神奈川県で作っていただいて、市民に示していただきたいと思います。一部の調節池は整備が進んでいますが、調節池の役割が実際のどの程度洪水を防ぐ効果があるのかはあまり発表されていません。長期的に時間はかかるけれど、治水計画を進めているという点で将来に希望を持つような対応を是非お願いします。

2 多摩都市モノレール町田方面延伸の早期実現促進について

モノレール延伸は将来の町田の発展を支える基軸交通基盤です。現在木曾～市民病院間の基盤道路整備が進んでいますが、今後忠生地区の都市計画道路の決定と最も難航が予想される市民病院～原町田大通り間の整備が必要です。「多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会」は最近開催されていませんが、これからの最も難しい局面に向かって、早期実現促進の機運を再度盛り上げる必要があると思われますので、コロナ禍ではありますが、何らかの対応をお願い致します。

【回答】

都市づくり部長

「多摩都市モノレール町田方面延伸の早期実現促進について」にお答えします。

まず、東京都の状況についてですが、モノレールの導入予定空間である都市計画道路の整備につきましては、現在、木曾団地南交差点から町田市民病院までの区間において、橋梁工事等を実施しております。

町田市民病院から町田高校手前までの延長約1キロメートルの区間におきましては、用地測量を進めており、今年度事業認可の取得を予定していると聞いて

ております。

また、忠生地区におけるモノレールルートにつきましても、今年度内に決定する見込みです。

町田市におきましては、町田市民病院付近から芹ヶ谷公園付近までの約2キロメートル区間で、2019年度から、モノレール用地を町田市が先行取得する「多摩都市モノレール町田方面延伸加速化プロジェクト」により、導入空間の確保に向けて、取り組んでおります。

また、原町田大通りの延伸部の町田街道から芹ヶ谷公園に接する北側道路までの約520メートルにつきましては、東京都との協働事業である「第三次まちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用して、道路整備を進めており、今年の5月に「道路整備計画説明会」を実施いたしました。

さらに、2022年3月策定予定の「町田市都市づくりのマスタープラン」におきましては、多摩都市モノレール町田方面延伸を前提とした計画策定に取り組んでいるところです。その中で、モノレールの需要喚起に必要なまちづくりにつきましては、町田駅周辺、木曾山崎団地、忠生・北部の3つのエリアを町田市全体の都市づくりをけん引するリーディングプロジェクトとして位置づけ、検討を進めております。

モノレール延伸の機運醸成につきましては、先月の10月30日に、町田商工会議所主催、町田市後援でモノレールのシンポジウムを開催し、会場で約100名、ウェブ視聴が約80名と多くの方に参加していただきました。今後も、各団体と連携・協力し、多摩都市モノレール町田方面延伸の早期実現に努めてまいります。

《質疑》

小山田桜台自治会

何度かこの話が出ていますが、スケジュールが明確であってないようものです。ルートはそんなに決まらないものなのですか。仮ルートをはっきり示して、これを何年に計画しているというスケジュールを明確にしてほしいです。噂ばかりが先に行って、今後どうなるのか、本当にこれはできるのか、できないのか、全くわからない。さっきの境川の件もそうですが、30年後にはできます、何十年後にはできます、そうすると5年先、10年先はどうなるのかということを書いていただかないと、やりますだけではわかりません。スケジュールはこう決まっています、こういう工事があります、この工事は何年に終了します、ということを確認していただかないとシンポジウムをしても意味がないです。もっとわかりやすくきっちりやってほしいです。

都市づくり部長

スケジュールが今、明確になっておりません。検討しているルートが複数あ

り、東京都が主催してルート検討委員会を開催しております。町田市としましては、小山田桜台団地、桜美林学園、町田工業高校の前を通過して、木曾山崎団地、市民病院、それから町田高校の裏を通過して、芹ヶ谷公園から原町田通りに入ってくるルートを東京都に対して要請をしています。他のルートとしては、野津田公園を通るルート、馬駟のところで曲がるルートなどありますが、市では先ほど申し上げたルートを東京都に対して強く要請しているところでございます。

では実際いつルートが決まるのかと申しますと、今年度内に決めるということで東京都から情報いただきながら調整をしているところでございます。その後、都市計画決定というものをしていきます。それから、事業認可を取得して、用地取得に入っていきます。市民病院から先の都市計画道路の区間につきましては先ほど申し上げましたように、町田高校の付近まで用地測量に入っているところですので、あとは用地取得を町田市としても協力しながら早期に実現できるよう進めていきます。先の予定がまだ明確ではありませんが、当面の予定はそのように考えております。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

これについては、いろいろ問題があると思います。明確なスケジュールを出していただくことが一番いいですが、これを是非推進していくことが最も大切ではないかと思えます。これについて市長、その辺り今後どのように進めていくことをお考えなのか、ここで話しただけませんかでしょうか。

市長

30年以上前の話ですが、小山田桜台団地そのものの建設の時から、ここにはモノレールが来ますということで、公団が開発しています。それからもうだいぶ時間が経過している状況でございます。

今、都市づくり部長から話がありましたが、市もいろいろと動きますが、基本的には東京都の事業です。最終的に決定するのも東京都でありますし、ルート検討委員会も東京都が主催をして開催しております。シンポジウムも東京都の活動を後押しし、気運を盛り上げるために開催しました。ルートそのものの決定もまだ年度内というスケジュールしか来ておりません。その後は、都市計画決定を行っていきますが、都市計画決定に対する賛成、反対は当然あります。都市計画決定と言っても道路の都市計画決定になるので、道路建設に反対するという人は当然います。そのため、都市計画決定をすることはそれなりの時間がかかるということを担当から申し上げました。さらに、そのあと事業化ということで、実際には測量と用地の交渉を行います。ここもスムーズに用地買収に応じていただければ順調に進められます。中には交渉になかなか応じていただけない方もいらっしゃるの、何年までに用地買収が終わりますよというこ

とをお示しできないというのが実態のところであります。話が出てからもう何十年も経っていますので、やきもきする気持ちはよくわかります。東京都に何度言ってもなかなか具体的な仕事が進まず、毎回知事要望では言っていますが、具体的な年度が出てきません。私としても、このモノレールの実現というのは、忠生地区に限らず、町田市民全体の願いであると思っています。何とか実現に向けて、さらに東京都に対しても要望していきたいと考えています。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

今後、相当な期間がかかると思います。その間、粘り強くかつ強い実現への意志を持って進めていただく以外にないと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

3 空き家について最新の町田市の対策について

空き家に住み着く野生鳥獣類、蜂の巣等に近隣住民は困っております。町田市のホームページを見ると市では駆除や撤去ができず、迷惑を受けている住民が負担を負い行動することになっています。安全上の観点からも、市で積極的な対応を取ることはできないでしょうか。

【回答】

都市づくり部長

空き家について最新の町田市の対策について、お答えします。

空家に関する通報につきましては、都市づくり部住宅課が窓口となり、通報者からの管理不全状況の聞き取り、所有者調査、現地調査を行ったうえで、所有者へ適切な管理を促す文書を送付しております。

今回ご意見をいただきました野生鳥獣類、蜂の巣等の駆除や撤去につきましても、同様の流れで対応しております。案件に応じて、害虫の駆除業者団体の紹介やアライグマ・ハクビシンの捕獲方法の案内、野生動物を取り扱っている東京都多摩環境事務所の紹介等も併せて行っております。

空家を適切に管理する責任は、空家の所有者にあります。町田市としましても、引き続き、空家所有者に対して適切な管理を促してまいりますので、積極的な情報提供をよろしくお願いいたします。

《質疑》

弥生ヶ丘自治会

私は今回一番この問題について最新の対策というのを期待していましたが、率直に申し上げて今ご説明いただいて今までと変わってないなという感じがします。

私どもの自治会は旧博物館のところの住宅地ですが、鶴川街道からの電力とか電話線のメインの入り口になっています。それが蜂だとか何とかという問題以上に、30年、40年木が伸び放題となっています。鶴川街道から見ればすぐわかると思いますが、そういう状態で、台風とかがあった時に、木が電線を切ってしまう可能性があります。そこではありませんが、一度急に電力が全部切られたというケースがありました。もし電力が切られたとなると、住民にとっては生死に関わる問題になります。今ご説明いただいた通り従来は所有者に確認していますが、所有者が確認できない、市役所も警察も民生委員の皆さんも連絡を取ろうとしても連絡が取れません。そうすると、極端な話枝一本切れないです。

確かに町田市の問題ではなく、国の問題だと思います。条例だけでできるかわかりませんが、木の伐採とか、近隣の住民が安心して住めるという環境を維持する最低の義務が町田市にあるのではないかと思います。いろいろ制度的に法律的に難しいところはあると思いますが、少しずつ手を着けていかないといけません。これは私どもの地域だけの問題ではなくて、町田市全体の問題、日本全体の問題です。是非、突破口を開けるような努力を町田市がやっていただきたいという意見でございます。

都市づくり部長

一番問題なのは所有者と連絡が取れないことだと思いますが、現在、町田市では所有者と連絡がとれない土地に対して、いくつか手を打っております。その一つが、所有者不明土地の申し立てで、家庭裁判所に財産管理人を選定してもらって対応しているケースが町田市の実例でもございます。家裁への申し立ての予納金を市の予算の中から納めて、最終的にその家屋を処分し、そこから予納金を市が回収していくという手法もとりながら、所有者不明土地については対応する体制も整えております。

もう一つは、特定空家等に対する措置というものがあり、これは所有者がわかっている場合は、助言又は指導を行った後、勧告をしていきます。そうすると、通常、住宅が建っている家屋については、税金が安くなっていますが、この税金が安くなる制度の適用が除外されます。家屋の所有者からすると、家が建っていた方が税金が安いので空家にしたままにしている方がいます。そういうものを除外して、税金を普通にかけていくというものです。また、その後に命令をしていきます。命令をした場合、過料が課せられます。その後は、行政代執行というものになっています。町田市でも行政代執行を1件実施しました。ケースによって、どれを適用していくか考えますので、是非ご相談いただければと思っております。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

その相談窓口としては、どこにお伺いすればよろしいでしょうか。

都市づくり部長

相談窓口は都市づくり部住宅課になります。市庁舎の8階にございますのでご連絡をいただければと思います。

4 町田市の新型コロナウイルス感染症対策の実状について

現状、市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況は落ち着き始めておりますが、一時期は市内でも3桁人数の感染者数が報じられておりました。また、その時期には自宅療養者数も相当者数いたようです。新型コロナウイルス感染症はまだまだ未知なことが多く、いつ状況が悪くなるかも分からず予断を許さない状況です。地域住民の不安や疑心暗鬼を解消するため、今後どのように対処していくのか、市の方針をお聞かせください。

【回答】

保健所長

市では、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、市長を本部長とする町田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を設置し、2020年4月9日に初めて開催してからこれまで48回開催しています。

現在、町田市では市民の皆さまが安心して生活できるよう、感染予防対策の呼びかけ及びワクチン接種を進めております。

新型コロナウイルス感染症対策は、一人ひとりが感染予防に努めるとともに広域的に取り組む必要があることから、町田市では、東京都と連携してソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用、手指の消毒といった基本的な感染予防対策の呼びかけを行っております。

また、ワクチン接種につきましては、町田市医師会とともに万全な体制を整え、希望する全ての方が新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種をできるよう取り組みを進めており、11月18日時点で2回目の接種を終えた12歳以上の方の割合は82%を超えました。

現在、厚労省や都と連携し、12月からはじまる3回目の追加接種の準備を進めており、本日(11月19日)から、2回目の接種終了後、8ヶ月が経過する方々に、順次、3回目となる接種券を発送いたします。多くの市民の方々の3回目接種が本格化するのには、来年、2022年2月以降になります。

日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、新型コロナ感染症の重症化を予防する高い効果があり、また発症を予防する効果が期待されております。

町田市としましては、希望者全員が3回目のワクチン接種を受けられるよう迅速かつ着実に準備を進め、新型コロナウイルス感染症に対処してまいります。

《質疑》

小山田桜台自治会

このワクチン接種で、コロナが収束すると思っていますか。

もう一つは、うちの息子がコロナにかかりました。その時の保健所の連絡は、熱はありますか、体調どうですか、この二点でした。そうすると、自宅待機してくださいと言われました。それから熱下がりましたので買物行っていいですかと聞いたら、行ってくださいと言われました。ということは、コロナにかかった状態で買物に行っています。それで3ヶ月経ったら、今度は体調不良で働けなくなりました。その後妻がかかりましたが、入院できました。そうすると治療を受けたので治りが早かったです。そういうことを踏まえて、保健所はどういう対策をとっていますか。ワクチンを打てば仕事終わりですか。

保健所長

ワクチンを打って収束するかということとは難しい問題なので、ここでの答えは控えさせていただきたいと思います。

今、ワクチン接種進めているということで、市の対策の一つとしてご紹介いたしました。保健所が主に行っている感染症対策は、医療機関から患者さんの発生を届け出ていただいた際に、患者さんと連絡を取り病状を確認し、その方の病状に合わせて自宅療養していただくのか、宿泊療養していただくのか、また入院治療が必要なのかということ判断しながら、適切な療養先、入院先につなげていくということです。また、その感染者の方に接触した可能性のある濃厚接触者を特定いたしまして、その濃厚接触者の方に連絡を取って検査を受けていただいたり、また必要な外出自粛をお願いしたりというようなことを主にやっております。感染者の方につきましては、自宅療養者の方は発症からおよそ10日経つと療養期間が終わりますので、その期間はご自宅で療養していただいています。その際には基本的には何かあれば保健所にご連絡いただきますし、保健所からも病状が思わしくないというようなことがないかどうか確認をするなど日々対応しておりますので、ワクチン接種をするだけが保健所の仕事ではありません。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

今の質問に関連して、ピークの時は町田市の医療体制の逼迫具合はどのような感じだったのでしょうか。

保健所長

医療体制につきましては、東京都全域で入院調整等行っておりますが、8月のお盆の前後が一番ひどく非常に医療体制逼迫しておりました。自宅療養中の患者さんが救急車を呼んでも入院先が見つからず、救急隊も行き先が決まらないのでそこでずっと待機しており、私どもも何時間も都内でコロナの患者さんを受けてくださる病院を次から次へ電話かけて、入院させてもらえないか調整をしておりました。そういった中で、医師会にご協力いただいて、自宅療養の方に往診、電話診療をしていただけるシステムや、一時療養ステーションを町田市でも設置して、入院先がない、もしくは自宅療養では不安だというような方に一時療養ステーションで酸素投与などができるといような仕組みを整えました。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

今のご質問のように、医療体制を整えて入院を希望する場合はきちんと受け入れていただけるという体制が非常に大切だと思います。

私の方から質問ですが、毎日テレビを観ていて、5歳から11歳のワクチン接種は今後どうなるのかという問題と、3回目のワクチン接種について8ヶ月過ぎではなくて、6ヶ月過ぎから3回目の接種を検討しているというお話をよく聞きます。その点について町田市としてはどうお考えでしょうか。

保健所長

ワクチン接種につきましては、国がこう進めるようにというようなことを、随時、通知また情報が来たり、担当者説明会が開催されたりしております。その説明に合わせて対応していくので、町田市独自で何か特別なことを特別な方に特別な形で実施するというようなことは考えておりません。5歳から11歳のワクチン接種についても、都の指示に沿って、来年以降に実施するというようなことになるかと思えます。

市長

3回目について8ヶ月を経過して接種をするということで、一昨日厚生労働大臣がテレビ、新聞に対しての発表をいたしました。その前の分科会は、6ヶ月から8ヶ月各自治体で判断をするということでした。昨日全国市長会評議会がありました。その中で、会長から8ヶ月という原則が示されたので、これでいきましょうという話をしていました。もうおわかりかと思いますが、2回目が終わってから8ヶ月っていうと、2回目が終わるまでは順番に接種していません。それから8ヶ月となれば、また順番で接種ができるわけです。それを6ヶ月でもいいですよと言うと、8ヶ月の人と、7ヶ月の人と、6ヶ月と混同しますので結構現場も混乱しますし、皆さんについても、また電話がかかりにくい、

ネットが繋がらないみたいなことが起きないとも限りません。

昨日、全国市長会では8ヶ月と決めています。特別に重症化しやすいとか、疾患を持っているという方は早くするということはありますが、これは例外的な話でありますので、町田市としても同じように8ヶ月経過した時点で3回目を接種するという方針を立てております。これは全国同じになるかと思いません。ただ、町や村では配送してくる箱の関係もあって、早めにやってしまうという村が出てくると思います。そういうことがテレビに出てしまうと、何々町では6ヶ月で3回目を接種しているという電話が市役所に入ります。それに対しては一つ一つ丁寧に、原則的に8ヶ月でやっておりますとお答えしますが、そのようなお電話をいただいてもいけないので、政府にはしっかりしてほしいと言っております。

この話題と違いますが、一人10万円の18歳までに対する給付制度が予定されています。これから国会があるので、まだ国会でその予算が通っていません。それにも拘らず、年内に支給するみたいな新聞報道がされています。とても難しいです。これから予算を審議して、その後通知があります。12月内に給付することはとても難しいです。児童手当の15歳未満までは給付できるかもしれませんが、高校生世代への給付は難しいです。新聞報道、国は年内に支給するという報道になってしまっています。そこは国にしっかりと正しい情報を出すように全国市長会で私も申し上げました。実際にできないことはできないので、それはしっかり私どもも皆さんに周知いたします。保健所だけではなく、広報まちだ、あるいはホームページを通じてしっかりお知らせいたします。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

テレビを観たお母さん方から「町田市は遅い」というお話が出てきます。ですが、結果として見ますと、2回目接種終わった人は全国平均で70数%のところ、町田市は80%を超えているというお話なので、しっかり着実に進めていると思います。ただし、毎日新聞やテレビで報道されていますので、市もその辺りの見通しを随時市民の方にしっかり流していただければ、市民も安心すると思いますので、一つよろしく願いしたいと思います。

金井町内会

私の娘が熱を出しまして、医者の方に対応していただき、保健所の対応も非常にスムーズで本当にありがとうございました。何もありませんでした。

質問ですが、コロナの関係で先ほど市長もおっしゃっていましたが、高齢者に対するワクチン接種の予約の方法は今までと一緒でしょうか。また何か、高齢者がスムーズにできるような方法、考えていらっしゃいますでしょうか。

保健所長

ワクチンの予約につきましては、今までネットの予約、また電話での予約を行っておりましたので、3回目の接種についても同じような方法で進める予定です。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

高齢者がパソコンや携帯で予約するとトラブルが多いです。できれば、そういった事態に対して相談できる窓口、今のお話ですとお電話になるかと思いますが、電話の回線を少し増やして、もう少しつながりやすくするなどの対策を今度とも引き続きお願いします。

5 檜枯病の対策について

最近市内の雑木林に通称、檜枯病と称するナラ、クヌギなどの大木の枯れ木が目立ちます。害虫による食害が原因と考えられます。部分的には松のマダラカミキリ、マツノズイセンチュウによる松の木の枯れ木も見られます。このまま放置すれば市内の多くの森林が枯れてしまいます。公園部分の枯れ木については伐採を行っていただき、民有地の枯れ木の伐採に対して補助金を交付するなどの対応が早急に必要と考えておりますが、市としての檜枯病への対処についてお聞かせください。

【回答】

都市整備担当部長

檜枯病の対策についてお答えいたします。

ナラ枯れとは、「ナラ菌」によって、ブナ科のナラ類が枯れる樹木の伝染病でございます。「カシノナガキクイムシ」という体長5ミリメートル程度の小さな昆虫が樹木に潜り込み持ち込む細菌でございます。その細菌が原因で、木は水を十分に吸い上げられなくなり枯死に至ります。

対策としましては、2021年4月から市内18箇所の公園、緑地で活動していただいている各ボランティア団体の皆様にご協力いただき、トラップを設置してナラ枯れの原因となる「カシノナガキクイムシ」の捕獲を実施しております。実績といたしましては、2021年9月までの半年で、約4万匹のカシノナガキクイムシの捕獲に成功いたしました。

また、枯死した木への対応でございますが、公園、緑地の利用者や近隣住宅への倒木の危険性があるものを優先して伐採処分を行っており、2020年度は、約120本の伐採をしており、処分費は約1,000万円でございます。今後も危険性がある樹木から伐採を行ってまいります。

民有地の枯れ木の伐採に対しての補助金ですが、現在、補助制度の創設の予

定はございません。

《質疑》

弥生ヶ丘自治会

住んでいる地域によっては、かなり問題意識も差があると思いますが、実は私どもが住んでいる住宅地は林に囲まれていて、真之山ふるさとの森という認定された緑地帯です。この中で何でもかんでも市にやっていただくということではなく、地元の人が一生懸命整備しようとして任意団体を立ち上げて、市の認定もいただき、大きい枝は市の協力で伐採していただいています。道具を市から提供いただいて、毎週2時間3時間一生懸命草刈りや小さな木を切っています。やっと約1年経って、幼稚園の子どもたちが中を安全で歩けるようになりました。

その中で最大の問題がこの問題です。やはり一生懸命捕獲しますが、恐らく季節的な問題もあると思いますが、毎週トラップを見て、中身をチェックして、捕獲していくら取ってもまた次の週になって同じ状態ということを繰り返しています。もう少し抜本的な、もちろん予算などの問題があると思いますが、対応が遅れてしまうと本当に町田市がはげ山になってしまいます。はげ山は単なる木が枯れただけで済まない自然災害の問題です。是非早めに市民にこの問題を市が積極的に取り組んでいるということを広く周知を進めていただきたいです。

もう一つ、個人的質問ですが、最近自宅の庭の松の葉が急激に黄色になっています。これは近隣の人の松だけじゃなくて、同じ種類の庭木が黄色くなってばらばら落ちています。去年も少しありましたが、今年になって見たらものすごいです。このマツノザイセンチュウというのは、一般家庭の松に感染するような危険性があるものかどうかご質問いたします。

都市整備担当部長

ボランティア団体さんには日頃から本当にお世話になって感謝しております。

カシノナガキクイムシというのは6月の梅雨明けに、木の中から幼虫が飛び立って、6月から11月までの間が檜枯の報告が多いです。虫自体が一番活発に活動するのが6月、7月と聞いております。対応については、薬剤注入や、木の幹にシートを巻いてしまうという方法があります。一番安価で手軽にできる対応がクリアファイルを使用したトラップによる捕獲です。全国的な問題でもあるので、有効な方法があれば、国とか都と情報共有しながら、全国的な問題でもあるので、対応していきたいと思っております。

松枯のマツノザイセンチュウのお話です。檜枯については江戸時代から確認されている在来の昆虫と菌が原因ですが、マツノザイセンチュウは外来種で

す。その対応については今のところ、市の中ではないので、今後この檜枯と一緒に、マツノザイセンチュウといった外来種の対応についても、研究していきます。

(司会) 忠生地区町内会・自治会連合会

一般の民有地の緑がこういう害虫に侵されていきますと、市の公園、それから道路に植えてある市の街路樹にも、大きな被害を受ける可能性が出てきます。そういった意味からも、こういう病害虫が発生した時に相談、知識の普及、駆除方法の普及、どうしても手に負えないような場合は市のご助力をいただいて除去できるような、継続的にご相談できる窓口を設置していただければと思います。

都市整備担当部長

今現在の窓口は、本庁舎 8 階にある都市づくり部の公園緑地課になります。公園緑地を管理している部門でお話を受付けます。ホームページ等にも電話番号などが載っていますので、お電話していただければと思います。

金井町内会

4 万匹を捕獲したというご報告ありましたけれども、その効果について聞いたことがありません。

都市整備担当部長

実績で 4 万匹を捕獲したということですが、その効果についてはまだ実際に検証はできておりません。

第 2 部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

今日は皆様に、「2021 年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料としてお配りしました。全部についてお話しはできませんが、まずは新型コロナウイルス感染症の対応です。昨年 4 月に、1 人 10 万円の特別定額給付金の支給を行いました。

子育て世帯の臨時特別給付金も支給しました。先ほども申しましたが、年内に 15 歳以下について 5 万円の現金の支給を予定しております。残りの 5 万円については、来年の 3 月くらいにクーポンとして、つまり貯蓄ではなく何かに消費していただくためにお配りする予定です。クーポンの配布については、まだどのように対応するかは未定です。高校生への 5 万円の支給は、システム開

発を含めて準備を進めて年度内に間に合わせる予定です。15歳以下の方は児童手当の関係もあり、所得の状況も口座番号も役所の方に登録をいただいておりますのですぐに対応できますが、高校生の場合には口座番号を申請していただいてシステム入力していくという非常に時間のかかる作業がありますので、年内は難しいと思いますが早急に準備を進めてまいります。

中小企業者家賃補助事業を4回行いました。去年の5月から1回目、利子補助と合わせて約10億6千万円。2回目は約5億2千万円。今年に入って3回目の約4億円。更に約3億円と4回補助事業をしています。

キャッシュレス決済のプレミアムポイント事業についてです。Pay Payと連携して行いました。去年の12月から今年の1月にかけて、それから今年の6月の2回実施しました。

飲食店のデリバリー支援を行いました。出前館にお願いして、消費者が出前を頼んだ時の配達料とお店側が出前館へ払う配達代行手数料を市が負担しました。また、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、合わせて約2億円でした。

ワクチン接種についてです。先ほどお話しした通り、既に接種した方の割合が82%を超えております。高齢者については92%を超えております。今のところわが国全体の平均接種率は75%ですが、G7の中では今一番接種率が高いです。接種しただけでは予防が難しいです。他国では感染者が非常に増えていて、ドイツでは過去最高の感染者数になっています。逆にインドではものすごく感染者が減りました。何が原因減少しているのかわからない状況であります。第6波についても起こるのか起こらないのかということがはっきりしないのは、世界的な事例を見ても国によって状況が異なっているためです。

まちだ〇ごと大作戦は4年間実施しました。町内会・自治会の皆様のご支援、ご協力、非常に大きくありました。おかげさまで、参加者数は100万人が目標できたが、200万人に達しました。12月26日の相原駅の、駅ピアノが最終回になります。始めた時も相原の夜祭りがスタートでしたが、最後も相原で終わるということになりました。

オリンピック・パラリンピックについては、今回ほとんどの競技が無観客でしたが、インドネシアのパラバドミントンの事前キャンプを総合体育館で行いました。参加した選手のほとんどがメダルを獲得しました。

熱回収施設についてです。おかげさまで皆様のご協力があり、来年の1月に正式稼働します。既にもう新しい工場が試験稼働しています。バイオガス化施設も動き始めています。温浴施設は来年の4月にオープンになります。資源ごみのビンカン施設、プラスチック処理施設を計画中です。2025年度という計画です。

保育所の待機児童については、130人だったのが76人まで減りました。来年もう少し減ります。鶴間や南町田など南地区が非常に多いので、今保育所

を作っていますのでもう少し減少すると思います。

小・中学校の体育館では、小学校42校、中学校20校の全校で年度内に空調設備の設置工事が終わります。少し工事が残っているところがありますが、3月までには終わります。昔、市内でも体育館が暑く熱中症で生徒が亡くなるということがありましたが、そういう心配がなくなると思います。また、体育館は避難施設にもなります。その時には、避難してきた人に対しても空調設備は役に立つと思っています。

中学校の全員給食というのを始めます。早ければ24年度にスタートできるかと思っています。遅くとも25年度までには、市内全域の中学校で給食を始めたいということで作業をしております。

小・中学校の再編計画を今年の5月に発表いたしました。将来3割くらい子どもの数が減るといふ推計が出ていますので、学校の老朽化と併せて再編計画を出しております。

特別養護老人ホームです。申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は85から90%です。申し込みから1年で入所できるという時代になりました。

《質疑》

弥生ヶ丘自治会

今、市長からご説明いただいた中で、小中学校の再編の関係で、私どもが住む本町田では今、町田第三小と本町田小と本町田東小の統廃合が一番先行して進めていただいています。それは非常に有り難いことですが、本町田東小で気になることがあります。土砂災害警戒地域なのか、学校西側に急な斜面があります。もし建て替えるのであれば、安全対策をしっかりとっていただきたいです。

もう一つ、学校施設を避難場所として非常に重視しています。従来の避難場所ではなくて、年寄りが何ヶ月、半年でも1年でも住めるぐらいの快適な避難場所ができるよう知恵を出して考えていただきたいと思います。そういう施設の在り方、単なる学校施設だけじゃなくて、避難場所としての重要性を十分認識していただいて作っていただきたいです。

市長

学校は老朽化が激しくて、既に建築後50年経っている学校がいくつもありますね。今すぐ建て替えるっていうことはありませんが10年経つと築60年となり、学校がもたない状況になるため、今お話がありましたように、建て替える時には、地域の施設としてどう使うかを併せて設計をしていく方針で計画していきます。ご意見をいただきましたので対応してまいりたいと思います。

住宅供給公社木曽団地自治会

多摩都市モノレール整備についてお伺いたします。私がこの話を聞いた時には、隣の自治体へのルートもあると伺っております。行政では把握しているのでしょうか。それとも町田市1本で考えてよろしいのでしょうか。この辺の影響をお訊きしたいと思います。

市長

モノレール延伸のルートの問題ですか。

住宅供給公社木曽団地自治会

そうですね。こちらにも駅周辺地区の整備基金として7億5千万集まっているということですが、当初、情報聞いた時には、八王子の方にも延伸のルート希望があるというふうに伺っておりました。この辺の競合性をお聞きしたいです。

市長

国土交通省が所管している交通政策審議会というものがあります。5年前に答申をいたしまして、その時、答申の表現に差がありました。町田は、延伸について関係機関と協議をする路線となっていました。八王子は検討期間ということになり、事業化はまだ先という答申になりました。八王子市長はモノレールとLRTと両方計画しているということを発表していますので、八王子市のモノレールの計画は全く具体化していない状況です。町田は先ほど申しました通り、ルートを今年度内に決めるということ、東京都から聞いております。

原町内会

小学校の通学指定の問題で相談にのっていただきたいです。4m50くらいの道路幅が通学路の指定になっている小学校がありますが、両側から生垣が出ているので実際幅は空間的には3m50くらいです。車が通ると、特に雨の日は傘をさしているので、非常に危ないところが一部ございます。私どもの町内会のエリアだったら直接お話に行ったりはできるかと思いますが、私どものエリアではなかったもので、以前、道路の担当の方に相談をして木の伐採や枝の剪定していただいたことはありました。ただ、空き家の問題と同じで、建築物は建築許可で道路から出て建てられませんが、植木の場合はそうはいかないです。上が出てもなかなか全部切れないです。その家は境界線のところに木が植わっているので枝が出ている状態で非常に難しいなと思いますが、通学路の指定になっていて、注意書きの立て看板も見えなくなっているのがあります。そういうところは市の方に協力していただいて、持ち主の方に相談なり協力していただいて、できればセットバックして木を植えてもらえば枝が多少伸びて

も空間的には出っ張ることはありません。なるべく道路幅の空間が確保できればと思います。町田市にはそういう環境が相当数あるというお話も道路の担当の方から聞いています。特に通学路なので、改善できればと思っていますので、何かお知恵があればよろしくお願いします。

市長

町田市は通学路の点検をしています。年に1回のところと、2年に1回ということもありますが、その際にはPTAの方も含めて実際現場に行ってください。もちろん警察の方の立ち合いもありますし、町田市の道路管理課も一緒に立ち会っています。もちろん通学路ですから、教育委員会の人と一緒にいきます。その点検をした結果で、どうするのか方針が出ます。そういうチャンスがまた来年も来ますので、その時に今のお話をさせていただくのも一つの方法かと思います。

司会（市民協働推進担当部長）

道路管理課の方で今の点検を踏まえた上で、そういった出ている方たちにはせり出しの指導としてお話をしておりますので、その辺のところは道路管理課の方に言っただけであればと思います。

○閉会の挨拶

町田市町内会・自治会連合会 会長代行